



音楽のまち・こもろ作曲コンクール
[最優秀賞作品]

夕日がにじむ時計

[作曲]

山崎 美徳さん



「今

年で一番うれしかったかもしれない。」

そう語る山崎さんは、今年開催された音楽のまち・こもろ作曲コンクールで最優秀賞に輝いた。山崎さんが作曲した「夕日がにじむ時計」は、来年1月1日から夕方の防災無線のサイロメロディーに採用される。受賞を知らされたときは

驚きだった。教室でお昼を食べていたとき、急に校長室に呼び出され、「何かしたかな?」と思いつながら校長室に入った途端、「おめでとう!!」と言われ、ビックリ。受賞の報告を電話で母親に告げたところ、意外に普通のリアクションで返されてしまったとのこと。

山崎さんは昨年開催した同コンクールに応募していた。昨年は自信があったのにも関わらず優秀賞に終わり、今年はりベンジの意味も込めて応募した。今回の曲を完成するまでに、30曲近く考えた曲から自分が気に入るまで磨きをかけて作った一曲。その成果が実り今回の結果につながった。

「夕日がにじむ時計」は、懐古園と夕日、そして小諸

の良い意味での落ち着いた感じを表現して作曲したという。小諸の今までの歴史を感じられるように「時計」と名付けた。

1月から流れるこの曲を市民の皆さんに「いつまでも飽きないで聴いてもらいたい。そして、今日もいい曲だなあって思ってもらえたらうれしいです。」



山崎 美徳さん
Yamazaki Minori

小諸高校2年生
(音楽科 リコーダー専攻)



取材に応じてくれた山崎さんの出身は新潟県。今年の夏まで実家から学校まで2時間30分かけて通学していた。2歳から始めた音楽は、母と姉の影響から。音を出すことが難しい楽器が多いなかで、簡単に音が出るリコーダーが魅力に思い、現在リコーダーを専攻している。卒業後の進路では、作曲の道も含めてあらゆる可能性を模索している。